



なかじま ひでお
中島 英雄 さん (時田)

地域の困りごとは、地域の力で解決できる。今回の取材で私自身も勇気を貰いました。

まだまだ働ける！まだまだ輝ける！ 人生のベテランたち

みなさんは「銀の卵」という言葉を ご存じでしょうか。「金の卵」と 「シルバー世代」を掛けた言葉で、 経験豊富な高齢者を貴重な人材と表 現しています。筑西市でも多くの銀 の卵が活躍しており、私たちの生活 を支えてくれています。

今回は、そんな銀の卵が多く在籍 する（公社）筑西市シルバー人材 センター（以下「シルバー」）の 百目鬼康弘係長に話を伺いました。
変わらない地域のニーズと 変わりゆく働き方

令和8年3月末時点で、シルバー には428人の会員がいます。10年 前と比べると200人程減っています。



筑西市シルバー人材センター 百目鬼さん

ですが、これは社会の働き方が大きく 変わり、定年後も再雇用などで働く 人が増えたことで、60代の会員が 減ったことが理由の1つに挙げられ ます。70代以上の会員は依然として 多く、さまざまな現場で活躍してい ます。

百目鬼さんはシルバーでの働き方 について「除草や剪定、清掃などの 屋外作業の依頼が多いですが、60代 の会員減少に伴い、屋外作業を希望 する会員も減っています。そのため、 依頼内容と会員が希望する仕事 がマッチしないという問題が起きて います。その一方で、人材派遣の依 頼件数が近年増えていて、10年前は 25件でしたが、令和8年は133件 と派遣実績が大幅に増えています。



「フレイル」とは

加齢に伴う食欲低下や活動量の低下などが原因で、知らず知らずのうちに心身の衰えが進み、「健康」から「要介護」へ移行する中間の時期と言われています。



詳しくはこちら

スーパーでのカート回収や魚捌き、 放課後児童クラブでの見守り、病院 での調理補助、工場内軽作業など、 勤務内容が多様化しています」と近 年の変化に触れ、時代の変化を感じ ました。

働くことが健康につながる

シルバー会員には健康や生きがい のために働く人が多いとのことだ 「働いているシルバー会員は、働い ていない高齢者に比べてフレイル発 生率が34%軽減されるという調査結 果が出ています。働くことによる仲 間との交流や地域とのつながりがフ



シルバー会員が仕事する様子

レイル予防に効果的だと考えられて います。また、会員の中には、指名 で依頼が入る人も少なくありません。この『必要とされる実感』こそ が、働くうえで原動力ではないで しょうか」とシルバー会員の健康の 秘訣について語りました。

シルバーが抱える課題と これからの展望

シルバーでは会員数減少や高齢化 などの課題解決に向けて新しい取組 みを模索しており「仕事の提供だけ ではなく、仕事以外でも楽しいと思 える環境をつくりたいと考えていま す。地域の高齢者をつなぐ拠点とし ての役割をますます強化していきたく いです」と百目鬼さんは今後の展望 について思いを巡らせました。

取材を終えて

シルバーは単なる高齢者の就労支 援機関ではなく、地域の困りごとを 地域で解決する「地域インフ ラ」となっています。人生のベテラ ンたちが、今日もどこかで働いてお り、その姿は筑西市の静かな支えで あり、地域の未来を創る力でもあり ます。

【問】市シルバー人材センター

☎ 25・4181